

NY マーケットレポート (2017年3月15日)

NY 市場のドル/円は大きく売られ、一時、113.18 円まで下落しました。注目の米連邦公開市場委員会 (FOMC) では政策金利を引き上げた一方で、金融引き締めでは緩やかなアプローチを維持するとの見方を示した。

FOMC 予測の中央値では 2017 年、2018 年の利上げ回数に変化がなく、より積極的な引き締めを望んでいたタカ派の期待は裏切られた格好となった。

またユーロ/ドルは一時 2 月 7 日以来の高値となる 1.0740 ドルに上昇、オランダ下院選の出口調査で与党・自由民主党が最大議席獲得したことを受けてユーロ買いの反応となった。

2017年3月15日 (水)

海外	高値	安値	終値
USD/JPY	114.82	113.18	113.40
EUR/JPY	122.05	121.22	121.70
GBP/JPY	140.19	139.16	139.37
AUD/JPY	87.48	86.81	87.40
EUR/USD	1.0740	1.0607	1.0734

東京	高値	安値
USD/JPY	114.88	114.63
EUR/JPY	122.01	121.64
GBP/JPY	140.60	139.33
AUD/JPY	87.03	86.69
EUR/USD	1.0640	1.0603

*東京時間は5p.m.まで

アジア主要株価	終値	前日比
日経平均	19,577.38	-32.12
ハンセン指数	23,792.85	-35.10
上海総合	3,241.76	+2.43
韓国総合指数	2,133.00	-0.78
豪ASX200	5,774.00	+14.86
インドSENSEX指数	29,398.11	-44.52
シンガポールST指数	3,137.43	-5.97

欧米主要株価	終値	前日比
米ダウ平均	20,950.10	+112.73
S&P500	2,385.26	+19.81
NASDAQ	5,900.05	+43.23
英FT100	7,368.64	+10.79
独DAX	12,009.87	+21.08
日経225 (CME)	19,450.00	-55.00
ポベスバ指数	66,234.88	+1,535.41

3/16 経済指標スケジュール

06:45	【NZ】4Q GDP(前期比)
09:00	【豪州】3月 消費者インフレ期待
09:30	【豪州】2月 雇用者数
09:30	【豪州】2月 失業率
11:00	【NZ】2月 非居住者国債保有率
15:00	【日本】2月 工作機械受注
16:00	【欧州】2月 新車登録台数[EU-27]
17:30	【香港】2月 失業率
19:00	【欧州】2月 消費者物価指数
19:00	【欧州】2月 消費者物価指数[コア]
21:30	【米国】3月 フィラデルフィア連銀景況指数
21:30	【米国】2月 建設許可件数
21:30	【米国】3/4 失業保険継続受給者数
21:30	【米国】2月 住宅着工件数
21:30	【米国】3/11 新規失業保険申請件数
23:00	【米国】1月 JOLT労働調査[求人件数]

商品市場	終値	前日比
NY GOLD	1200.70	-1.90
NY 原油	48.86	+1.14
CMEコーン	363.50	+1.25
CBOT 大豆	998.00	-1.25

欧米債券市場	本日	前日
独連邦10年債	0.415%	0.450%
英国10年債	1.211%	1.220%
米2年債	1.299%	1.376%
米5年債	2.003%	2.129%
米10年債	2.493%	2.600%

3/16 主要会議・講演・その他予定

日銀金融政策決定会合	
17:30	スイス中銀 政策金利
18:00	ノルウェー中銀 政策金利
20:00	トルコ中銀 政策金利
21:00	英中銀 政策金利

NY 市場レポート

3:00

◆《主要ニュース》

FOMC: 政策金利を 0.75-1%に引き上げ、年内あと 2 回の予想維持

米連邦公開市場委員会 (FOMC) は 14、15 両日に定例会合を開き、フェデラルファンド (FF) 金利誘導目標を 0.25 ポイント引き上げ、0.75-1% のレンジに設定した。将来の利上げペースが加速するとの兆候は示さず、追加利上げは「緩やかに」とどまとした。

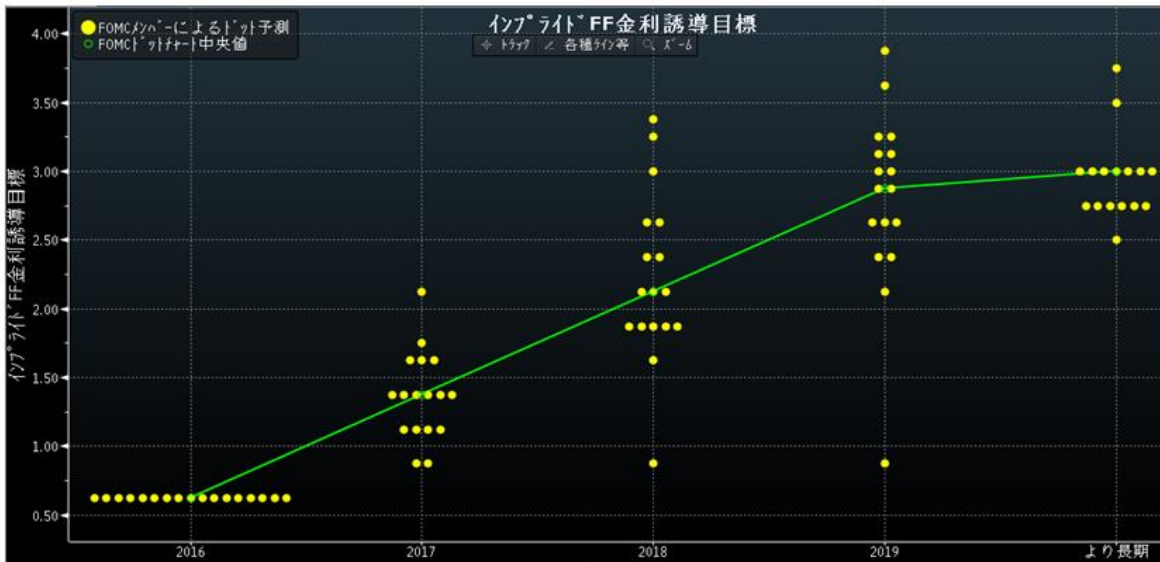
FRB 当局者の政策金利見通しは、年内さらに 2 度の利上げ、2018 年は 3 度で据え置かれた。

インフレ率は目標の 2%に「近い」としたが、物価上昇ペースがやや速まることを許容する可能性を示唆した。

FRB ドットチャート

- ・ 17 人中 9 人が年内 3 回の利上げ見込む (12 月時点は 6 人)
- ・ FF 金利の適正水準、17 年末時点は 1.375% (前回から変わらず) ・ 18 年末時点は 2.125% (前回から変わらず)
- ・ FF 金利の適正水準、19 年末時点は 3% (前は 2.875%) ・ 長期は 3% (前回から変わらず)

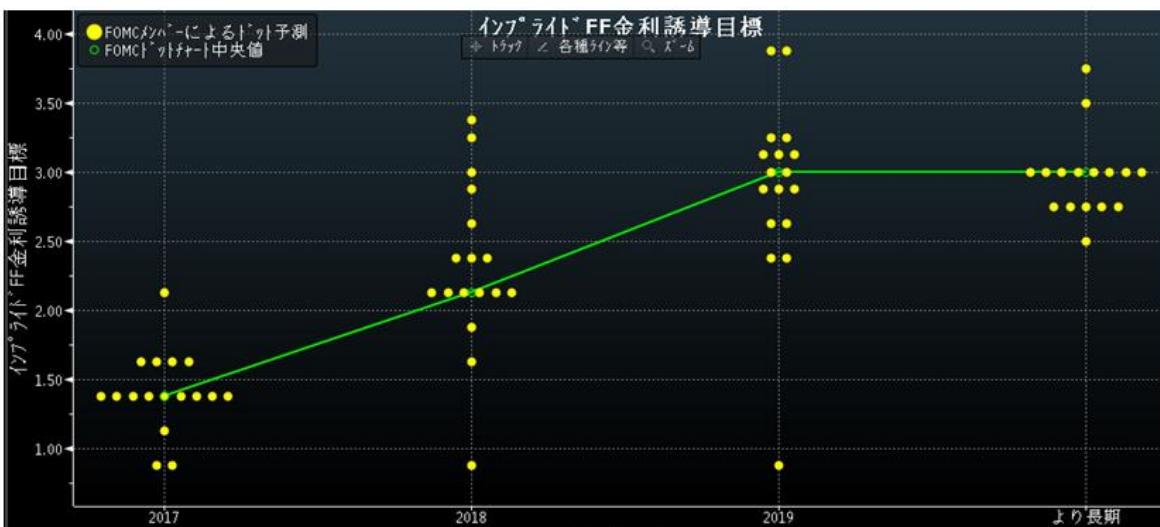
ドットチャート (前回: 12 月 14 日)



出所: Bloomberg



ドットチャート (今回: 3 月 15 日)



出所: Bloomberg

3:30

◆《要人発言》

イエレン米FRB議長

- ・「米経済、今後数年は緩やかなペースで拡大すると引き続き想定」
- ・「政策は引き続き緩和的」
- ・「今回の決定は、利上げを待ち過ぎれば今後一段と急速な引き上げ必要になるとの見方を反映」
- ・「今後数年緩やかな追加利上げが適切となる公算」
- ・「経済見通しは、極めて不透明」
- ・「財政政策の変更は経済見通しに影響する可能性がある。財政政策について語るのは時期尚早」
- ・「債券ポートフォリオについて討議したが、決定には至らず」
- ・「バランスシートを縮小する前に経済に対する信頼が必要」
- ・「雇用と物価安定の目標は、達成しつつある」

21:30

◆《経済指標の結果》

米国 3月 ニューヨーク連銀製造業景気指数 16.4 (前回: 18.7・予想: 15.0)

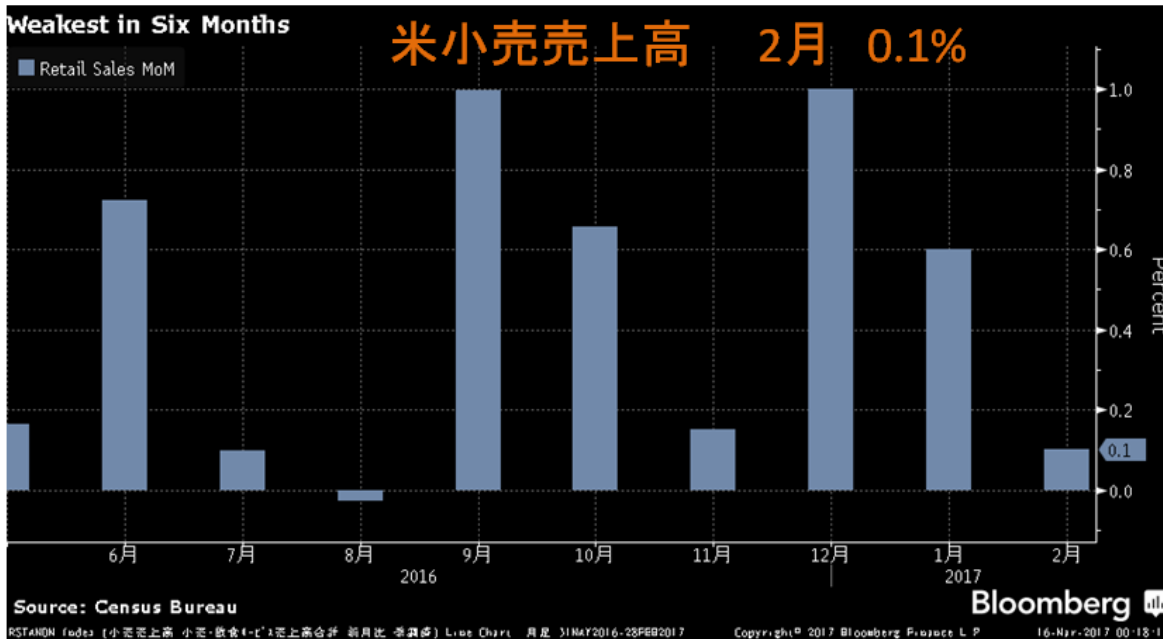


米国 2月 小売売上高 (前月比) 0.1% (前回: 0.4%⇒0.6%・予想: 0.1%)

米国 2月 小売売上高[除自動車] (前月比) 0.2% (前回: 0.8%⇒1.2%・予想: 0.1%)

・米商務省が発表した2月の小売売上高は前月比0.1%増と、2016年8月以来6ヵ月ぶりの小幅な伸びとなり市場予想と一致した。自動車の購入が減り、政府が不正対策を強化している関係で税還付の遅れがでていることも売り上げを抑制している。米経済が第1四半期に勢いを失ったことを示す内容となった。1月の売上高は当初発表の0.4%増から0.6%増に上方改定された。

・軟調な小売売上高の背景として、所得税還付に影響する法律の変更が一因となった可能性がある。今年は2月24日終了週末までに処理された税還付が約1270億ドル(約15兆円)と、前年同期に比べて約10.5%少ない。



出所: Bloomberg

米国 2月 消費者物価指数 (前月比) 0.1% (前回: 0.6%・予想: 0.0%)

米国 2月 消費者物価指数 (前年比) 2.7% (前回: 2.5%・予想: 2.7%)

米国 2月 消費者物価指数[コア] (前月比) 0.2% (前回: 0.3%・予想: 0.2%)

米国 2月 消費者物価指数[コア] (前年比) 2.2% (前回: 2.3%・予想: 2.2%)



出所: Bloomberg



出所 : Bloomberg

◆《主要ニュース》

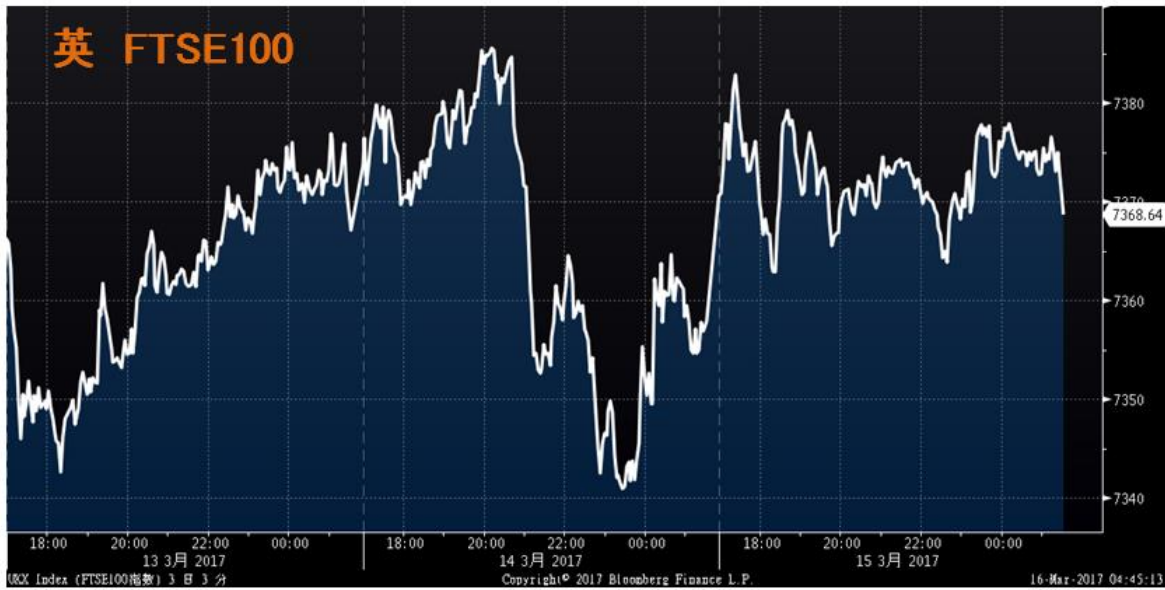
米経済成長率、第1四半期は1%割れへ=アトランタ連銀 GDP ナウ

米アトランタ地区連銀の経済予測モデル「GDP ナウ」によると、第1四半期の米国内総生産(GDP)伸び率は年率0.9%と、1%の大台を割り込む見通し。8日時点の1.2%から下方修正された。小売売上高などの最新データを反映した。



出所 : Bloomberg

《欧州株式市場》



出所 : Bloomberg

《 NY 金市場 》

15日のニューヨーク金市場では、スポット相場が米連邦公開市場委員会(FOMC)声明発表後に上昇。FOMCが利上げ回数の見通しを維持したことから、インフレ上昇に伴い利上げペースが加速するとの警戒が和らいだ。FOMCは政策金利を0.25ポイント引き上げるとともに、年内にあと2回の利上げ予想を維持した。



出所 : Bloomberg

◀ NY原油市場 ▶

15日のNY原油先物相場は8営業日ぶりに反発し、前日比1.14ドル高の1バレル=48.86ドルで取引を終えた。朝方発表された米週間石油統計で、原油在庫が市場の予想に反して減ったことが好感された。午後に入り、FRBが今年の利上げ回数について従来の予想を据え置いたことでドルが主要通貨に対して下落し、ドル建ての原油先物に割安感が出て、相場は一段高となった。



出所：Bloomberg

◀米株式市場▶

15日の米国株は2週間ぶりの大幅高となった。FOMCが年内あと2回の利上げ予想を維持したことを受け、S&P500種株価指数は上昇。声明発表後の記者会見でイエレンFRB議長が「経済が順調に推移している」と述べると株価は一段高となった。



(過去3日間) 出所：Bloomberg

《米債券市場》

米連邦公開市場委員会 (FOMC) 声明で、金融引き締めペース加速の兆候が示されなかったことを受け、金融・債券市場は国債利回りが急低下した。過去3ヵ月で2度目の利上げに踏み切ったが、追加利上げは「緩やかに」とどまるとした。FRB当局者の政策金利見通しは、年内さらに2度の利上げ、2018年は3度で据え置かれた。



出所：Bloomberg

《外国為替市場》

NY時間のドル/円は大きく売られ、一時、113.18円まで下落した。注目のFOMCでは政策金利を引き上げた一方で、金融引き締めでは緩やかなアプローチを維持するとの見方を示した。FOMC予測の中央値では2017年、2018年の利上げ回数に変化がなく、より積極的な引き締め軌道を望んでいたタカ派の期待は裏切られた格好となった。

また、ユーロ/ドルは一時2月7日以来の高値となる1.0740ドルに上昇、オランダ下院選の出口調査で与党・自由民主党が最大議席獲得したことを受けてユーロ買いの反応となった。



出所：総合分析チャート

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複製もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。